



ほっこり
する



約1年ぶりの練習会再開

小島 裕生 (こじこじ)

2021年10月31日朝8時30分、原宿駅表参道口。集合時間の30分前でしたが、ひょっとこさんとなべっちさんの姿がすでにありました。約1年ぶりの練習会再開。それから次々にみんなが集まり、改札前が「密」になってきたところでそれぞれ代々木公園へ。

中央広場がオレンジ色のネットで囲まれ、六角の休憩舎もロープで閉鎖中のため、いつもの場所が使えません。JBMAがふだん使っている「閲兵式の松」の近くに集合です。

声出しは、去年の2月以来でしょうか。ぎたあさんが結婚！ジェフさんがケガから復帰！重田2号さんの伴走で初参加の山下さんがそのまま入会！明るいニュースで盛り上がりました。

タッキーさんのマッチングで、それぞれコースへ。私はデιβさんと初コンビを組み外回りをジョグで6周。久しぶりのためか、いつもよりウォーキングをしている人の割合が高いかも。おかゆちゃん、ハロウィンのオレンジ色三角帽、素敵です。終わりごろには、ゆみこちゃんも顔を出してくれました。

いつもの場所が使えなくても、まだまだ40人くらいの参加でも、なべっち体操ができなくても、ドッグランからは賑やかな声が聞こえだし、入り口近くの芝生では外国人たちのグループが踊っていたし、いつも掃除してくださっているおじさんも竹ぼうきで落ち葉を掃いていたし、みんなが代々木公園に帰ってきたと実感できる練習会でした。

練習会アルバム 2021年10月～11月



NPO 法人アキレス第2期総会報告

理事長 重田 雅敏（重田2号）

9月26日に第2期の総会がありました。コロナのためにズームを利用したオンライン会議でしたが、正会員66名中59名が議決権行使をしてくれました。

今回の総会の特徴は、手話通訳を配置したり字幕やチャットを使っただけの意見交換を試したりと聴覚障害者の参加をしやすくしたこと。利用者は一人だけでしたが、積極的に質問してくれて、来年からの総会準備の参考になりました。総会参加者はみんなゆっくり発言するように心がけ、会場は協力的な空気に包まれていました。

活動報告では、コロナで練習会ができなかった半面、世界各地のアキレス支部と走行距離を競い合ったアキレスカップで優勝したり、ズームで豆まきやお花見

会、七夕など季節の話題やクイズ対抗戦で盛り上がったと報告がありました。

また長年の懸案だったホームページがリニューアルされました。会計関係では、練習会がほとんどできず会費を半額としたため、決算報告も予算案も赤字になってしまいましたが、監査報告では帳簿上もアキレスの運営も問題はありませんと報告がありました。

ニューヨーク本部と日本支部との健全な関係を保つための協定についても承認され、これからさらに海外との交流が盛んになると期待されます。最後に理事の再任と新理事1名の追加を承認し総会を閉じました。練習会ができなかった分、なかなか手付かずだった様々な案件の整理解消に努めたため、練習会再開後には、楽しい企画やイベントがたくさん実施できるのではないかと思います。

2メートル先からの お・も・て・な・し

五十川 寛章（ブライアン）

本年7月から9月にかけて、英国オリパラ陸上チーム事前キャンプと羽田空港で計16日間オリパラボランティア活動をさせていただきました。アンチオリパラの世論の声も大きく、会場あるいは移動中にボランティアが矢面に立つ場面も想定され、多くの方々がボランティアを辞退された中

での業務でした。

終了して1カ月、世間ではあまり余韻はなく、開催された事実だけが残

っているような印象を受

けます。それでもスケートボード等の若者・都市型スポーツが認知されたこと、地元開催によりパラリンピアンが活躍がメディアに多く取り上げられたため障害者スポーツがより身近に感じられたと思います。

この流れをレガシーとするためには行政、競技団体、障害者団体等のアクションが必要です。ボ

ランティア業務は場所、主管者によってその内容も自由度もさまざまでした。多くの制約の中でなにをすべきか、同時にコロナバブルの外側2m先からでもなにかおもてなしをできないか、常に考えて自主的に行動していた多くの女性ボランティアがいました。彼女たちの企画力、行動力、情報収集力、チーム作り、リーダーシップには私も多くを学びました。ボラン

ティアネットワークこそがレガシーであり、これを今後、自治体、スポーツ団体がいかに活用するかが問われています。

活動中、海外アスリートから度々言われた“Thank you for having us.”「開催してくれてありがとう。」これが救いです。

（写真は事前キャンプのウェルカムメッセージとボランティア集合写真）



オーストラリアとメルボルン支部のご紹介

田畑 美智子（タバッチ）

オーストラリアには、20年前設立のシドニー支部、今年5周年を迎えたメルボルン支部、2年前に設立されたブリスベン支部、そして首都キャンベラの支部と4支部があります。

メルボルン支部の会員数は140名ほどで、練習会には40名くらいが参加。メルボルン支部のアスリートも日本のように視覚障害者が多いそうです。

練習会は日曜日。マッチングはFacebookを活用し、前



日昼までに氏名と何キロ走りたいかを登録。同じ人とはばかりペアリングしないように気を配っているようです。なお、同じオーストラリアでも、シドニーは東京のようにその場でマッチングしています。

年会費は20豪ドル（約1700円）ですが、障害などのための免除制度があります。

以前はスポンサーがいてTシャツを作り、新しい会員にプレゼントしているようです。コロナ前のニューヨークシティマラソンでは、クラウドファンディングを活用し、参加者の旅費を半分までに下げられたとか。

このメルボルン支部から、2021年のパラリンピック東京大会に女子ゴールボールで出場した会員がいて、知り合いの伝を頼ってご本人からメッセージをいただきましたので、ご紹介します。



日本のみなさんへ

ジェニー・ブロウさん

オーストラリアのジェニーと申します。東京パラリンピックに出場しました。

大会を支えてくれた皆さんに心からお礼申し上げます。コロナ禍にも関わらず、本当に素晴らしい大会で最高の経験をすることができました。

私が出場したのはゴールボールですが、オーストラリア女子チームとしては今までで一番よい成績を残すことができました。ご存知かも知れませんが、日本チームは銅メダルだったんですね！

日本チームは皆さんとてもよい方々で、日本で何度も戦ったり一緒に練習したりしたことがあります。

ゴールボール以外ではランニングが好きで、メルボルン支部で走っています。メルボルンにお越しの際には是非一緒に走りましょう！

障害のある皆さん、是非アクティブに色々なスポーツにチャレンジしてください。世界になるとか次のパラリンピックに出場するとかは関係なく、とにかくチャレンジして楽しい時間を過ごしましょう！

皆さんがオーストラリアにお越しの際、或いは私がまた訪日する際、皆さんとお会いするのを楽しみにしています！

（写真はメルボルン支部の皆さんと、ジェニーさんが選手村のメインストリートで手足を広げている姿）



わーわーずをよろしくお願ひします！ 林 かよみ（はなてんちゃん）

大阪で活動している「視覚障者マラソン練習会 長居わーわーず」は1999年に、一人のブラインドランナーが「走る練習をしたいので伴走者を探しています」と、ネットに書き込んだことから設立された練習会です。名前のいわれは伴走ロープの「輪」と「わいわいにぎやか」だからと、つけられました。

いつでも走りたい、大会に出てみたいとブラインドが中心になってチラシを作って配ったり、マラソン大会があれば出向いて伴走者を募ったりしてきました。長居公園を拠点として活動をしているランナーさんも走る私たちを見て興味をもってください伴走者の数も増えてきています。

わーわーずのモットーは「来るもの拒まず、去る者追わず」。ブラインドの年齢も幅広く下は7歳から最年長は87歳、車いすのブラインドランナーも参加しています。伴走者も高校生から78歳、みなさん走ったり歩いたりそれぞれの方法で活動しています。



練習会は毎週日曜日の午前中です。参加者は平均すると4、50名でしょうか。ペアリングはその場でするのでみんなときどきわくわくして発表を待っています。

マラニックを計画したり、大会に参加したり、みなさんとても積極的です。わーわーずは自由な雰囲気をもったクラブです。

（写真は2019年に神戸リレーフォーライフに出場した時の集合写真）

編集後記

<https://achillesinternational.jp/> から「あっぴる会報・最新号」のボタンをクリックして、写真や文を拡大してご覧いただくこともできます。

あっぴる川柳 八代 啓吾（ヤッシー）

今回は、いつものように日常生活での一コマから感じたことに加え、初めての試みとして「家族」というお題を設定して川柳を募集しました。6名の方が投句して下さいました。ありがとうございました。

口喧嘩 しても心に 感謝あり

威張っても 背文は孫に抜かれおり（以上、ランタナ）
便りなし ほんとに元気な 印やら

（川柳ネーム ひえた八宝菜）

外食と 久々集まり 大出費(だいしゅっぴ)（ヤッシー）
解除なき 我が家のソーシャル ディスタンス （ジェフ）
川柳を 考え眠れぬ 秋の夜

（川柳ネーム パクチスト）

支援のため 入った飲み屋で コップ割る

（川柳ネーム 余計なおせっかい）

オリパラの 選手の活躍 大熱狂 （ヤッシー）
よねちゃんは 代々木育ちの メダリスト （ジェフ）
来年は いつもの暮らし きっとくる （ひえた八宝菜）

いかがでしたか。「家族」については、コロナの影響でなかなか会えない家族への思いをつづった作品が多いかと思いきや、比較的明るくとらえたものが多かった印象を受けました。

次回については改めて募集させていただきます。皆さんからの力作をスタッフ一同心よりお待ちしております。

特定非営利活動法人アキレス・インターナショナル・
ジャパン

連絡先住所

〒175-0094 東京都板橋区成増 2-32-15-519

豊原方

電話

090-2203-3346（重田）

ホームページ

<https://achillesinternational.jp/>